

## 道空手道選手権壮年上級の部

## 伊藤さんV空蘭対決す

## 準V大川さん 2人とともに全国へ

3月16日に札幌で開かれた2014北海道空手道選手権大会（国際空手道連盟極真会館主催）で、室蘭市絵鞆町の会社社長伊藤洋さん（48）が優勝し、市内白鳥台の会社員大川忠義さん（41）が準優勝を果たした。2人は普段から一緒に稽古に励んでおり、8月の全国大会出場に向けて技術向上を競っている。

（阿部浩二）

2人は壮年上級の部（40歳以上、6人）に出場。伊藤さんは初戦の2回戦を大差の判定で制し、大川さんは1、2回戦をいずれも一本勝ちの完勝で決勝へ進んだ。2人とも「自分の力を出し切ることだけを考えた」といい、決勝は一進一退の攻防が続く白熱した展開に。延長戦の末、伊藤さんが2011年大会以来2度目の優勝をもぎ取った。

伊藤さんが極真空手を始

めたのは41歳の時。「当初は毎日ふらふらになっていた」という。故障も多かったが稽古には誰よりも真剣に取り組んだとの自負がある。「試合の結果が稽古量に比例するところを若い人たちに示したかったので、優勝はうれしい」と喜ぶ。大川さんは3交代勤務の

空手道選手権大会壮年上級の部で優勝した伊藤さん（左）と準優勝の大川さん

仕事上、稽古に参加できない

いことも多かったが、スポーツクラブで走り込みをするなど努力を重ねた。懸案だったスタミナ不足が解消され、「3試合とも全力を出し切ることができた」。2人が所属する極真会館北海道胆振支部の沢田乃基支部長は「2人とともに全国大会で良い結果を出す力を持っている」と話し、大舞台での活躍に期待している。

